津軽ダム事業概要

『6つの機能を持った多目的ダム』

① 洪水被害を軽減します。
ダム地点基本高水流量3，100m³／s→160m³／sに調節します

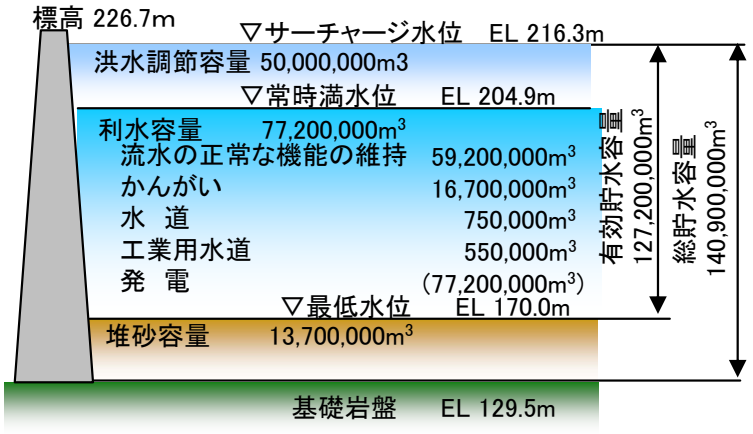
② 流水の正常な機能を維持します。
既得用水（かんがい・水道用水）の安定補給を行うほか、河川環境を増進します

③ かんがい用水を補給します。
岩木川左岸地区の約9，600haの農地に対し、新たに水を補給します

④ 水道用水を供給します。
弘前市に対し、新たに14，000m³／日を供給します

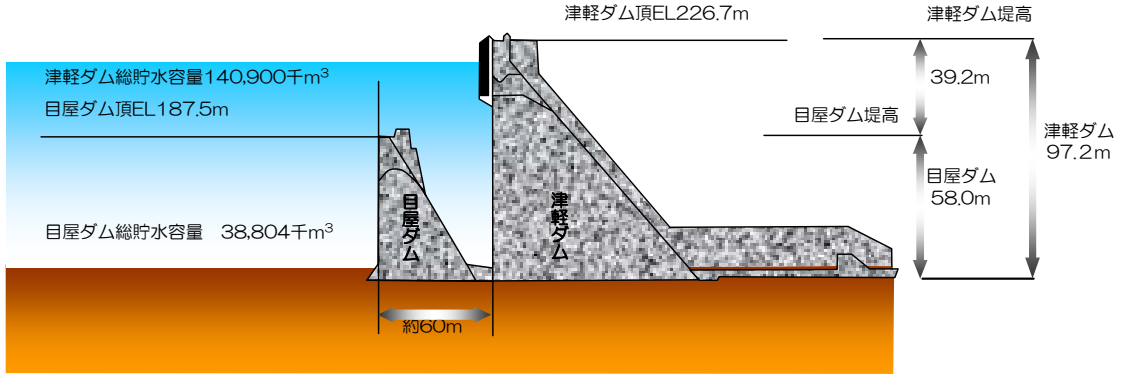
⑤ 工業用水を供給します。
五所川原市に対し、新たに10，000m³／日を供給します

⑥ 発電を行います。
最大出力8，500kwを水力により発電します



『再開発事業』

目屋ダム（昭和35年3月完成）の機能を継承し、大幅なダム機能を向上させた津軽ダムを建設します。



『総事業費』

総事業費 1，620億円

事業経過

昭和63年度	実施計画調査開始（津軽ダム調査事務所）
平成 3年度	建設着手（津軽ダム工事事務所）
平成 4年度	環境影響評価（閣議アセス）
平成 5年度	津軽ダム建設に関する基本計画告示
平成 8年度	下流工事用道路着手
平成12年度	一般補償に関する協定締結
平成17年度	岩木川河川整備基本方針策定
	基本計画第１回変更告示（工期変更）
平成18年度	基本設計会議（実施設計）
平成19年度	本体関連工事着手
	県道付替ダムサイト迂回路開通（H19.7.25）
	基本計画第２回変更告示（H19.8.21）
平成20年度	本体工事着手
平成22年度	本体コンクリート打設開始（予定）
平成28年度	竣工予定